

Ansei and Toshiko Uchima: Weaving Colors and Memories

あん せい

内間安理・俊子展

色を織り、記憶を紡ぐ

東京からニューヨーク、版画とコラージュによる50年

Fifty Years with Woodblock and Collage, from Tokyo to New York

2026

6.27 Sat. — 8.30 Sun.

前期: 6月27日(土) — 7月26日(日)

後期: 7月28日(火) — 8月30日(日)

※期間中、一部の作品の展示替えを行います。

開館時間: 10:00-17:00(入場は16:30まで)

休館日: 月曜日(ただし7月20日(月・祝)は開館)、7月21日(火)

観覧料: 一般1,000円(800円)、高・高専・大生600円(480円)、

中学生以下無料 ※()内は、20名以上の団体割引料金

※市内在住・在学の高校生、市内在住の65歳以上の方、

各種障がい者手帳をお持ちの方と付き添い1名は無料。

受付に証明証をご提示ください。

主催: 碧南市藤井達吉現代美術館、碧南市、
碧南市教育委員会

共催: 中日新聞社

碧南市藤井達吉現代美術館

HEKINAN CITY TATSUKICHI FUJII MUSEUM OF CONTEMPORARY ART

〒447-0847 愛知県碧南市音羽町一丁目1番地 Tel.0566-48-6602 Fax.0566-48-6603

E-mail museum@city.hekinan.lg.jp http://www.city.hekinan.lg.jp/museum/

内間安理 Ansei Uchima

《Forest Byobu (Early Morning Sun) [森の屏風(曙光)]》(部分)

1980年 多色木版、紙 個人蔵

内間俊子 Toshiko Uchima

《Cotton Ginのころ》(部分)

1986年 ミクストメディア ストライプハウスギャラリー



1980

内間安理・俊子展 あんせい 色を織り、記憶を紡ぐ

Ansei and Toshiko Uchima: Weaving Colors and Memories

沖縄からアメリカへ渡った両親のもとに生まれた内間安理(1921-2000、米国籍)は、少年時代をロサンゼルスで過ごした後、1940年来日し早稲田大学で建築を学びました。第二次世界大戦後、恩地孝四郎の創作版画に感銘を受け木版画に取り組みます。1959年にアメリカに帰国してからは、ニューヨークを拠点に制作を続けました。1970年代後半、浮世絵版画の技法にもとづく「色面織り」の技法を確立し、色鮮やかな「Forest Byobu 森の屏風」シリーズにより評価を高め、1982年に病に倒れるまで旺盛な活動を展開しました。

大連で育った内間俊子(1918-2000、旧姓・青原)は、1935年、神戸に移り住み、小磯良平に絵画を学んだ後、1953年には瑛九らによる前衛的なグループ「デモクラート美術家協会」に参加しました。この頃、久保貞次郎や瀧口修造を知り、抽象的な油彩画や木版画を制作するようになります。夫・安理とアメリカに渡った後、1960年代後半からは詩情を湛えたコラージュやボックス型のアッサンプラージュの制作を始めました。その独自の歩みは、今まさに注目されるべきものといえます。

本展は、版画やコラージュ作品を中心に、二人の独自性のある豊かな創作世界を振り返るものです。俊子については初期から晩年までの軌跡を辿る初めての機会となります。戦後の激動の時代において、創作だけでなく、日米のアーティストや文化人のネットワーク形成に尽力した両者の功績を再評価するとともに、イサム・ノグチや棟方志功など関連作家の作品と併せて紹介し、戦後美術の新たな一面に光をあてます。



内間安理《In Blue (Dai)》1975年 多色木版、紙 個人蔵



内間俊子《スーパーニール》1954年 油彩、カンヴァス 和歌山県立近代美術館



内間安理《相撲》1957年 多色木版、紙 個人蔵



内間安理《Space Poem (A)》1974年 多色木版、紙 個人蔵



内間俊子《1907のポストカード》1982年 コラージュ、パステル、紙 個人蔵



内間俊子《橋》1965年 多色木版、紙 ストライプハウスギャラリー



イサム・ノグチ《鳥》1952年 紙 個人蔵
©2026 The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum/ARS, NY/JASPAR, Tokyo E6319



棟方志功《流離抄版画巻 狐狼の櫛》1953年(摺り:1955年) 多色木版、紙 個人蔵

■記念講演会

演題:「日本とアメリカを結んだ美術家:内間安理・俊子の人と作品」
講師:桑原規子氏(美術史家)
日時:7月26日(日)14:00~15:30
場所:地下1階・多目的室B
定員:50名 聴講無料

■ワークショップ

「創作木・紙版画に挑戦 ~一版で多色刷りを試してみよう~」
木や紙で作った版を切り分け、それぞれの版を再構成したりずらしたりして多色刷りの版画を作ります。
日時:8月2日(日) ①10:00~12:00 ②13:30~15:30
対象:一般(小学4年生以上)
参加費:300円
定員:各10名(先着順)
場所:地下1階・創作室
講演会、ワークショップともに6月5日(金)10:00より受付を始め、定員になり次第締め切ります。電話にて①氏名②電話番号③参加人数をお知らせください。

■みんなでアートを楽しむ「フリートークデー」

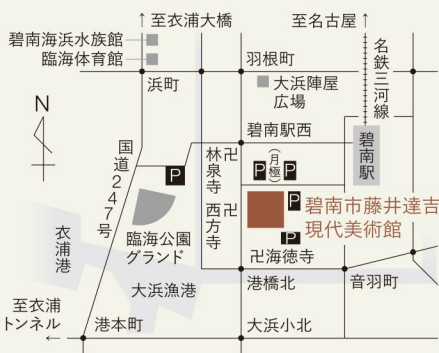
声の大きさを気にせず展示室でお話してきる日です。
ベビーカーレンタルや授乳室もご利用いただけます。
日時:7月20日(月・祝)10:00~17:00

■ギャラリートーク(担当学芸員による展示説明会)

7月5日(日)・11日(土)、8月1日(土)・9日(日)・22日(土)
14:00から約30分
予約不要。観覧券をお持ちの上、2階ロビーにお集まりください。

■次回の企画展:

「小林徳三郎 一詩のような日常宇宙。」
2026年9月12日(土)~11月8日(日)



交通のご案内

- 名鉄線ご利用の場合:名鉄名古屋本線「知立駅」乗り換え、名鉄三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩6分。
- JR東海道本線と名鉄線ご利用の場合:JR「刈谷駅」乗り換え、名鉄三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩6分。
- 知多半島道路・阿久比インターから車で約20分(衣浦大橋を渡って右折)
※駐車台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

碧南市藤井達吉現代美術館

HEKINAN CITY TATSUKICHI FUJII MUSEUM OF CONTEMPORARY ART

〒447-0847 愛知県碧南市音羽町一丁目1番地 Tel.0566-48-6602 Fax.0566-48-6603
E-mail museum@city.hekinan.lg.jp http://www.city.hekinan.lg.jp/museum/

Homepage



Instagram

